



子育てや介護があっても働き続けられる職場環境づくりを進めるため、ワークライフバランス推進アドバイザー（社会保険労務士）を設置し、ワークライフバランスに取り組む企業への個別訪問支援などを通じて、「ワークライフバランス推進企業認定」の取得推進を実施！

現状

（ワークライフバランス推進企業認証）

- ・H19に次世代育成企業認定制度を創設し、H29にワークライフバランス推進企業認証制度に改正

○次世代育成企業推進委託料

（実施体制）ワークライフバランス推進アドバイザー 2名体制
（社会保険労務士会に委託）

（業務内容）

ワークライフバランスに取り組む企業に対して、個別訪問により次世代育成や介護支援の取り組みのフォローを行い、認定制度の加入促進を図る。

H29年10月末現在
180社を認証

◆ワークライフバランス推進アドバイザーの業務量

- ・訪問企業数 182社
（内認証した企業 30社）
- ・申請書類の審査・指導 30社
- ・更新企業訪問 46社
- ・更新申請書類の審査・指導 46社

目標

認証レベル到達企業数
500社（H30）

ステップアップ 現状目標達成は厳しい……



くるみん認定・
プラチナくるみん認定

えるぼし認定

課題

- ・個別訪問方式のみの支援では企業支援数が限定的
- ・企業が積極的に取り組むためのインセンティブが不足

対応

○県等が策定支援する事業戦略（H31年度までに200社）、経営計画（500件）にワークライフバランスの視点を盛り込む！

- ⇒ 他の取り組みにより掘り起こしが進み、マンパワー不足を解消！
- ⇒ 補助要件に事業戦略等の策定となる補助金があり、インセンティブにも！

効率的な掘り起こしと新たなインセンティブの付与により支援対象が増加。

支援対象の増に対応した体制と実施方法の見直し

上記見直しによる業務量の増加に対応するため、ワークライフバランス推進アドバイザーを3名体制に増員し、集合型セミナーを実施することで業務の効率化を図る！

○高知県ワークライフバランス推進事業委託料 8,418千円

（実施体制）ワークライフバランス推進アドバイザー 3名体制
（社会保険労務士会に委託）

（業務内容）

これまで同様に、認証、働き方改革への支援希望企業へのワークライフバランス推進アドバイザーを派遣する個別訪問は継続し、支援の効率化を図るため各種普及啓発セミナー（1回の説明で多数の企業へ周知啓発を実施）を開催する。

- 個別訪問の実施
- 各種セミナーの開催
- 工業振興課・経営支援課との連携
- 県民生活・男女共同参画課・健康長寿政策課との連携

1名増強

支援対象の増加により
企業の認証取得が促進！

◆ワークライフバランス推進アドバイザーの業務量

【H30年度想定業務量】

- ・新規開拓対象企業数目標 500社
- ・新規認証企業数 110社

○新規開拓方法を戸別訪問からセミナーでの普及啓発シフト

- ・セミナーへの講師派遣等 24回
- ・セミナー等で関心を示した企業への戸別訪問 300社
- ・申請書類の審査・指導 110社
- ・更新企業訪問 27社
- ・更新申請書類の審査・指導 27社

多くの企業の認証取得が進み、子育てや介護があっても働き続けられる職場が数多く誕生！